

二〇〇一年一月三〇日、ひさしは第 71 回朝日賞を受賞した。ひさしの受賞者挨拶は素晴らしくて、筆者は、進めつつあったこの本のためにわざわざひさしが話してくれたのではないか、と思い込んでしまったほどだった。筆者もメモを取ったが、翌日の朝日新聞朝刊に他の受賞者の挨拶と一緒に詳しく掲載されているので、長くなるが最後にこれを引かせてもらおう。

＜中学三年の秋、私を仙台の施設で預かってくれたカナダ人の修道士が、エラ・ウィーラー・ウィルコックスというアメリカの女性大衆詩人の「ソリチュード（孤独）」という短い詩を教えてくださいました。英語の発音に自信がありませんので、私の訳で申し上げます。

この地球は涙の谷／悩みごとや悲しいことでいっぱいだ／そこで喜びはどこから借りてこなくてはならぬ／その借り方は—あまり有効な方法ではないが、しかしこの方法しかないので、あえていうが—とにかく笑ってみること／笑うことで喜びを借りてくることのできる

悩みごとや悲しみは最初からあるが、喜びはだれかが作らなければならないという詩です。この喜びのパン種である笑いを作り出すのが私の務めです。時に不発だったり、時に間に合わなかったり、なかなかうまくは行きませんが、これからも笑いをコツコツ作ってゆく決心です。そのことでこの世界の涙の量を一グラムでも減らすことができれば、こんなうれしいことはありません。＞

桐原良光「井上ひさし伝」白水社（2001年）

Solitude by Ella Wheeler Wilcox

<https://www.poetryfoundation.org/poems-and-poets/poems/detail/45937>

Laugh, and the world laughs with you;
Weep, and you weep alone;
For the sad old earth must borrow its mirth,
But has trouble enough of its own.
Sing, and the hills will answer;
Sigh, it is lost on the air;
The echoes bound to a joyful sound,
But shrink from voicing care.
Rejoice, and men will seek you;
Grieve, and they turn and go;
They want full measure of all your pleasure,
But they do not need your woe.

Be glad, and your friends are many;
Be sad, and you lose them all,—
There are none to decline your nectared wine,
But alone you must drink life's gall.
Feast, and your halls are crowded;
Fast, and the world goes by.
Succeed and give, and it helps you live,
But no man can help you die.
There is room in the halls of pleasure
For a large and lordly train,
But one by one we must all file on
Through the narrow aisles of pain.